

「地域福祉に関する意識調査結果」における自由記述の取りまとめ

要 点

問 13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事例（回答総数 128件）

自由記述を整理・分析したところ、「交通機関の不足・不便」「バリア」「子供連れでの外出」「子供の遊び場所」「各種サポート」の5つの項目に分類することができました。

1. 交通機関の不足・不便

- ① 交通機関の不足
- ② 交通手段の不便
- ③ 運行経路のわかりにくさ
 - ・バス等の公共交通機関の本数や路線が少ない，運行経路がわかりにくい等の理由で不便さを感じているとの意見があります。

2. バリア

- ① 歩道・階段
- ② バス等の乗降
- ③ 障がい者用駐車スペース
 - ・歩道や階段，バス等の乗降時に段差で困っている，障がい者用駐車スペースの利用マナーが悪いなどの意見があります。

3. 子供連れでの外出

- ① 授乳・おむつ交換
- ② 子供用・共用トイレ
- ③ 子供用カート
 - ・外出の際，授乳スペースやおむつ交換台，子供用カートがある場所かを考える必要があり，子供用トイレの少なさに不便を感じています。

4. 子どもの遊び場所

- ① 遊び場所（屋内施設を含む）の不足
- ② 公園駐車場
 - ・子どもの遊び場所が少ないことや，公園に駐車場がないこと，また，雨天時でも遊べる屋内プレイルームの少なさに不便を感じています。

5. その他の各種サポート等

- ① 一時的な人的・預かりサポート
- ② 送迎の負担
- ③ 外出・買い物
- ④ ストレス

- ・外出時や何かあったときに面倒を見てくれる人や預け先がないなどの一時的な人的サポートを望む意見があります。
- ・仕事が休みの日でも通院等の送迎しなければならないため、息抜きやゆっくりできる時間が持てず心の余裕がないなどのストレスを感じているとの意見があります。
- ・介助が必要な外出時に荷物の持ち運びが大変なことや、公共交通機関の充実を望む意見があります。

集約結果

問 13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事例

I. 交通機関の不足・不便

1. 交通機関の不足

- ・公共交通機関の不足。(47・女)
- ・公共交通機関が少ない。(56・男)
- ・公共交通機関が少ない。(81・女)
- ・公共交通機関が少ない。(53・女)
- ・公共交通機関が少ない。(64・女)
- ・交通機関が少なすぎる。(83・女)
- ・交通機関が少ない。(53・女)
- ・交通の便が少ない。(84・男)
- ・交通が不便。(52・男)
- ・バスの本数が少ない。(42・男)
- ・バスの本数が少ない。(57・女)
- ・五稜郭まで行かないと交通手段がない為、子供を抱えながらは大変だ。(31・女)
- ・自宅から近くのバスは1時間に1本。雪の季節を考えるとあきらかに少ない。これでは外出もままならない。(38・女)
- ・バスなど公共交通機関の少なさ1時間に1本あるかないか。(44・男)

2. 交通手段の不便

- ・バスはあるけど行ける場所が限られているので不便。(25・女)
- ・交通機関(電車・バス)の本数が少なかったり、行きたい所までの路線が少ない。(47・女)
- ・交通手段が少なく、行きたい場所へスムーズに行けない。(38・女)
- ・子供が小学生、中学生になったときバス通学にしたいが交通機関(バス)の系統が1本しかないため、冬季の期間等車ではなくバスを使用したいが時間帯が合わないため不便を感じる。(34・男)
- ・車が無いためバス利用だが本数が少なく不便。乗り継ぎも余裕が無い。(48・女)
- ・交通機関の乗り換えが多い。(男)
- ・冬のバスは場所によっては30分以上待たされる事があり、子どもがいると遅れられると困ります。(35・女)
- ・バスが遅れるので時間通りにきてほしい。(91・女)

3. 運行経路のわかりにくさ

- ・バスの経路等がネットで見てもわかりづらい。(46・男)

- ・公共交通機関に対してほとんど知識がない。(48・女)
- ・バスの本数も少なくわかりづらい。(38・女)

II. バリア

1. 歩道・階段

- ・ベビーカーが市電の線路で引っかかるので、歩道部分だけでも直してほしい。(38・女)
- ・歩道の段差や路面のデコボコが多く歩きにくい。(男)
- ・道がジャリで足もと不安定。(50・女)
- ・段差が多い。階段に手すりが不十分。(49・女)
- ・階段や手すりがないと登れない。(57・女)
- ・飲食店に入るときスロープがないので入れない。歩道がデコボコしているので車椅子または杖の歩行があぶない。(53・女)
- ・車椅子での移動では道路の段差や少しの登り道等が多い。斜めになっているところも多い。(58・女)
- ・車椅子での段差が困った。(85・女)
- ・足が悪いため段差につまづく。(68・女)
- ・子どもが病気で車椅子だが道路のデコボコが大変。(72・女)
- ・道路の段差, デコボコ。(53・女)

2. バス等の乗降

- ・バスに乗るとき道路との段差があり困る。(30・女)
- ・市電やバスの乗り口が高いため困る。(68・女)
- ・バスの乗降が大変。(71・女)
- ・バスの乗降が大変。(57・女)

3. 障がい者用駐車スペース

- ・障がい者用駐車スペースが少ない。(スーパーなど) (43・男)
- ・障がい者用駐車場が少ない, または健常者が駐車している。(54・男)
- ・車椅子専用スペースの駐車場に普通の人が止めている。(44・男)
- ・障がい者駐車場に健常者が駐めておりなかなか駐車できない。(79・男)
- ・障がい者駐車場の一般利用が多い。(61・女)
- ・車いす用駐車スペースが中々ない。車いす用のスペースの上にコーンがおいてある。止めるなということか。(49・男)

Ⅲ. 子供連れでの外出

1. 授乳・おむつ交換

- ・授乳スペースやおむつ替えの場所を考えて出かける場所を探す。(29・女)
- ・授乳室やおむつを替える広いスペースのある店が少ない。(31・女)
- ・乳児のおむつ交換台や電気ポット(ミルク用)があれば助かる。(30・男)
- ・おむつを替えたり授乳する場所がない。(21・女)
- ・授乳室のある施設が少ない。(36・女)
- ・おむつ換えができる飲食店や施設がない。(最近はかなり改善された)(42・女)
- ・授乳室が少ない。(23・女)
- ・おむつ替えの場所はあるが、授乳できる場所が少なく感じる。(70・女)
- ・外出先に清潔なおむつ交換台か授乳場所が少ないと感じる。(28・男)
- ・おむつ替えスペースがない所がある。(34・女)

2. 子供用・共用トイレ

- ・子供用トイレがあまりない。(36・男)
- ・子供連れで行きやすいトイレが少ない。(29・女)
- ・子どもと共用のトイレが少ない。(35・男)
- ・幼児を連れての専用トイレが少ないため困る。(38・男)
- ・子供用トイレ(便座)がない。(34・女)
- ・子どもをトイレに行った時に便座が大人用しかないとき。(31・女)

3. 子供用カート

- ・子どもが寝たときに子供用カートがないとき。(31・女)
- ・買い物の際カート(子供用)がないと行くのをためらう。(29・女)
- ・スーパーなどでベビーカートが少なく、わかりづらい場所にあることが多い。(28・男)

Ⅳ. 子供の遊び場所

1. 遊び場所の不足

- ・近くに徒歩で行ける公園や、子どもたちが走ったり自転車に乗ったりできる場所がない。(35・女)
- ・子供の遊び場が少ないと思う。(49・男)
- ・幼児等が安心して遊べる場所が少ない。(なるべく低価格～無料)(30・男)
- ・子どもと出かけても、遊んだり楽しめる施設が少なすぎる。(46・男)
- ・近所に狐がでて公園に行けなくなった。子どもを遊ばせる所が少ない。(32・女)
- ・子供と出かける外出先がない。(41・男)
- ・雨など外遊びができないときに子どもを連れて行く場所が限られる。もっとたくさん選択肢があると良いです。(お金がかからないところ)(45・女)

- ・雨の日など室内で遊べる場所が近所がない。(41・女)
- ・親子で遊べる屋内遊具スペースなどが少ない。(35・女)
- ・近くに室内で遊べる所が少ないので不便。(25・女)
- ・月齢の低い子が遊べる屋内パークみたいな場所がない。(21・女)
- ・1歳と小学生低学年の子どもがいるが、アリーナのキッズルームの小学生低学年も利用可能にしてほしい。親が一人で兄弟別に遊ばせられない。(38・女)

2. 公園駐車場

- ・公園に駐車場がない。(30・女)
- ・公園に駐車場がないところが多い。子どもが遊べる場所が少ない。(特に室内)(36・男)
- ・子どもが楽しめる遊び場所が少ない。公園の遊具が少ない。駐車場が少ない。(43・女)

V. その他の各種サポート等

1. 一時的な人的・預かりサポート

- ・外出時に面倒を見てくれる人が側にいない。(男)
- ・近くにファミサポさんがいない。(41・女)
- ・子どもの面倒を見てくれる人がいない。そのような事業所がない。(56・男)
- ・子育てで自分が仕事の時見てくれる人がいない。(48・女)
- ・子どもの預け先がない。(47・女)
- ・勤務中の預け場所。(40・女)
- ・下の子どもが入院した時の上の子どもの世話。病院には子どもは入れないことになっているし、夜、子どもを連れまわすのはよくない。結局一人で家で待たせることもあった。(38・女)
- ・自分が体調が悪い時。(受診)、上の子どもの行事のとき、買い物するとき、仕事が夫婦共に遅くなった時の夕食。(38・女)
- ・色々な手続きなく、少し預かってくれるところがあれば本当に助かります。(38・女)
- ・地域に子ども食堂のようなどころがあればとても助かります。(38・女)
- ・急な外出の時に母を見てくれる人がいない。(74・男)
- ・高齢の両親であるため、母を買い物に連れて行くと残した父が心配。(72・男)
- ・夫婦とも高齢のため、介助や手助けしてくれる人がいて欲しいと思う。(79・女)
- ・体の不自由な父でしたので、私が熱ある時など、伝染すると困るので、介護してくれる人や組織が(施設以外)知らずに困った。(58・女)

2. 送迎の負担

- ・母親の病院等の送迎。(50・男)
- ・高齢の義母を頻繁に送り迎えするため、自分の予定が立てられずお抱え運転手のようになってしまっている。(57・女)
- ・親の通院のための冬道の運転が精神的につらい。(60・女)

- ・仕事が休みであっても病院や買い物の送迎をしなければいけない。(35・女)

3. 外出・買い物

- ・一緒に外出すると介助が必要なため、荷物の持ち運びにも苦慮。(54・女)
- ・荷物が多い時 (46・女)
- ・車椅子が備え付けられていないところがある。(24・女)
- ・公共交通機関が少ないので移動が大変。(36・女)
- ・ほとんどタクシーを利用するため料金がかさむ。(74・女)
- ・外出時、バスは使えないので、タクシー助成がほしい。(65・女)
- ・トイレ、障がい者用がない場所、障がいがあるため食事に出かけられる場所が少ない。
(57・女)
- ・外出時は車椅子で利用できるトイレがあるところに行きますが、トイレの介助を一人でできなくなったので、外出したいが難しくなりました。(53・女)

4. ストレス

- ・長期の外出ができない。(68・男)
- ・自分の息抜きができない。(54・女)
- ・レストランやカフェでゆっくり食事ができない。(41・女)
- ・親の面倒と子育てで心の余裕がない。(50・男)

要 点

問 1 7 地域福祉の推進に関する意見や要望 (回答総数 285件)

自由記述を整理・分析したところ、「地域での交流・支援」「町会」「情報へのアクセス」「相談機関」「様々な地域の課題」の5つの項目に分類することができました。

1. 地域での交流・支援

① 「交流の場」

② 「各種地域支援」

・気軽に、もしくは定期的に世代間交流できる機会と場所を求めている、また、子どもの貧困に対応した学習支援、障がい者等へのサポート体制の整備を望んでいます。

2. 町会

① 町会加入者の減少

② 町会役員の高齢化・なり手不足による運営の問題点

③ 町会の存在意義や今後のあり方

・町会役員の高齢化や役員のなり手不足、加入者の減少等もあり町会運営上の問題が発生しているとの声があります。

・町会の存在意義を整理し、今後の町会のあり方を模索する必要があるとの意見があります。

3. 情報へのアクセス

① 簡単な情報入手

② 情報の周知

・知りたい情報になかなか辿り着けないため、情報の周知方法への工夫が求められています。

4. 相談機関

① 民生委員・在宅福祉委員についての情報不足

② 地域と民生委員の信頼関係の向上

③ 相談窓口の充実

・民生委員や在宅福祉委員の活動情報の積極的な公開、民生委員の信頼関係の向上や気軽に利用できる相談所の存在が望まれています。

5. 様々な地域の課題

① 治安・防災・衛生

② 公共交通

③ 除雪

・街灯の少なさ、空き家の多さからの治安・防災・衛生に対する懸念、バス等の公共交通機関について不便さ、除雪に対する不満の意見があります。

I. 地域での交流・支援**1. 交流の場**

- ・地域での交流の場を増やしてほしい。(50・男)
- ・小中学校を利用した、お年寄りの活動や児童との交流。場所。(お年寄り、定年退職者が定期的に活動できる)(53・女)
- ・デイサービスを利用できる以前の人に気軽に交流の場があると良いと思っています。(85・女)
- ・子供やお年寄りが共に集まり共に活動出来る場をもってほしい。(33・女)
- ・「誰でもどうぞ」というスタンスで子ども食堂や子育てサロン、高齢者サロンなどがあり、最初の一步を踏み出しやすいと地域の人にも集まりやすいと思う。集まる場所があると世代間交流や地域の課題が自然と出てくる、見えてくることもあると思います。また、その課題を町会や行政に伝えてくれる役割の人もいるといいなと思います。(39・女)
- ・子どもから大人まで一緒に集まりスポーツ、読書、習い事ができれば。(69・男)
- ・屋内で無料で遊べる施設がほしいです。どんな季節でも子連れで行ける場所がほしい。(29・女)
- ・高齢者が気軽に出入りする所があると良い。たまには高齢者同士で楽しい時間ができるような地域になってほしい。(67・女)
- ・高齢者が気軽に集まって、日中の時間を過ごせる場所を増やしてみてもと考えます。外出する「目的」を作ると活動量の増大につながるのでは。(28・男)

2. 各種地域支援

- ・経済的に余裕がない家庭の子供達は塾に行けなかったりするので、ボランティア等で勉強を教えてくれる人、場所が函館には少ないので増やして欲しいです。(46・女)
- ・高齢者や子ども、子育て世代へのサポートに関する情報等はよく見聞きしますが、障がいを持つ方や引きこもりになっている成人以降の人へのサポート体制など少なく感じます。目に見えている問題ばかりではなく、なかなか表に出てこられない人々へスポットをあてたサポート体制を充実して頂けることを心からお願いしたいと思います。(35・女)

II. 町会**1. 町会加入者の減少**

- ・町会加入が少なくなっています。(66・女)
- ・町会に入らない人が多くなっている。(74・男)
- ・町会からの脱会者が増えている。(59・男)

2. 町会役員の高齢化・なり手不足による運営の問題点

- ・どこの町会も同じでしょうが後期高齢者が多く私も役員何十年も携わっています。(75・女)
- ・働いている世代は班長すら担当するのが仕事との兼ね合いで困難なことが多く町会を実際に運営している人たちはかなり高齢化しているようです。(52・男)
- ・町会役員，分区長，班長はじめ，民生委員，在宅福祉委員になり手が少ない。(86・男)
- ・自治会長をしておりますが，他の役員は全て後期高齢者ばかりで後継役員が見つからず，今後の自治会活動が先細り (63・男)
- ・町会活動で公園の除草を行っているが，年々高齢者が多くなり大変な作業になっている。(73・女)
- ・町内会は子ども対象の行事がないので，もっと増やしてほしい。その為にも若い人の意見を取り入れて欲しい。(36・女)
- ・町内会費もお支払いしていますが，子育て世代に還元がほとんどされていません。回覧を見ても，お年寄り向けのイベントばかりで，子どもが参加できるものは，ほぼありません。富岡町はお年寄りも多いですが，昭和小，亀田小があり，子どももたくさんいます。夏祭りをするだとか，お年寄りだけのお楽しみの場を増やすのではなく，たくさんの世代間交流ができる町を強く望んでいます。(子育て世代の親同士でも上記のことをよく話しています) (38・女)
- ・函館市各町会にも市職員が多数住んでいると思います。町会の行事やボランティア活動にほとんど参加者がいません。(80・男)
- ・町会に入りたいと思うが時間的に余裕がなく，また訪問してくれているかも知れないが共働きのためお会いしたことがない。町会費だけでも良いのであれば払いたいと思うがその機会もない。とても残念です。(40・女)
- ・町内会に入ろうと思っていたが，連絡も通知もなくよく分からない。(33・女)
- ・人口減少のため，町会活動に支障がでている。役員のなり手もないため1人で二役，三役もやっけてボランティアの域を超えている。行政で立案したものも町会に流すだけでなく住民を動かすまで考えてやってほしい。(75・男)
- ・町会費を払うのを市民の義務化にしてほしい。そして各家庭で振り込みにして班長の集金はやめてほしい。10戸中2戸しか班長を引き受けないため，1年おきに班長をしなくてはならずとてもストレスを感じます。ボランティアの気持ちをもありやっているが，今時ナンセンス。(54・女)
- ・町会の役員が長くなりすぎて運営に支障がある。(79・男)
- ・町会運営に協力してくれる若い人がいない。ボランティア活動も高齢者が多いので大変です。(76・女)
- ・町会役員のなり手不足や会員の減少で今のままでは成り立たない。市の金銭的な助成だけでは維持できない。(81・男)
- ・少子高齢化が進み，町会の維持も大変で手立てがないのが現状である。(62・男)
- ・町会加入者に若い世代がいないため，活動が困難になっている。(72・男)
- ・高齢者が多くなり若者が町会への関心が全くないのが心配である。(76・男)
- ・地域住民が高齢化して各地域(町会)単位の事業が難しくなっている。(79・女)

3. 町会の存在意義や今後のあり方

- ・町会を新しい体制のコミュニティに再開発してほしい。このままでは老人のためだけの運営になり益々弱小化する。(54・女)
- ・町会を新しいかたちにしてほしい。(54・女)
- ・高齢化が進む一方役員の担い手が不足して活動が限定的になり活発な行動に繋がっていないのでこの辺を改革する必要があります。(72・男)
- ・町会も役員等が高齢化や後継者がいなく少数の人に負担がかかっている。町会のあり方を根本的に考える時期に来ているのでは。(71・女)
- ・今後の存在意義について「大きな？」が有り大変不安に思っています。(63・男)
- ・町会の仕事が面倒くさいという理由で隣近所は誰も加入していない。町会に入っている意義がわからなくなる。(47・女)
- ・地域で高齢者が増えている状況で町会活動など無理にやらなくても良いと思う。お祭りや回覧板など大変になってきている。(45・女)

III. 情報へのアクセス

1. 簡単な情報入手

- ・色々な情報をもっと身近でわかりやすければいいと思う。(53・女)
- ・法律や制度など詳しい冊子等があれば良い。どこに相談して良いのか分からない人もいると思うのでなるべく詳しい冊子がほしい。(42・女)
- ・福祉に関する条例やサービスなど詳しく知る機会がほしい。(42・女)
- ・親と同居なので介護について知りたいです。(57・男)
- ・親の介護が必要な時にどこに相談し、市からどのような援助が受けられるかもっと分かりやすく SNS 等を活用し広めて欲しい。(36・女)
- ・ボランティアなど興味はあるのですが、どうやって参加したらいいのかとやり方がわからない。(69・女)
- ・ボランティアに参加するにしても内容がわからず受付の場所も不明。(77・男)
- ・活動している内容や連絡先など分かりやすくして欲しい。(76・女)
- ・災害時、自分が住む地域のどう行動するかという具体的なマニュアルはあるのかわからない。災害時各地域においてどのような行動を取るべきか具体的なものを提示すると思う。(避難場所、経路等、それらを回覧板で定期的に知らせる等)(41・女)
- ・困った時など、全く市の組織がわからないです。(58・女)

2. 情報の周知

- ・(問 16) 自分自身全く知らない事ばかりです。自分でも無関心で申し訳ない気持ちですが。行政の方面からも、ぜひアピール等していただきたく思います。(53・女)
- ・前問で「殆ど知らない」項目が9つ。「全く知らない」が2つありました。自分の不勉強がその要因ですが、市政はこだてや道新販売所便りなど、いろいろな場面での PR も必要ではないかと感じました。(80・男)

- ・知らないことが多いので色々な周知をもっと押し進めるのも良いのかも知れません。例えば地元のコミュニティラジオ FM いるかを使うなど事あるごとに市の考えを多くの市民にしつこいくらい繰り返し伝え、訴えていくのも良いと考えます。(50・男)
- ・もっと市が一般市民に広く福祉等の事を知らせる努力が必要。相談窓口等がどこにあるのか分かりやすいものをもっとあって良いと思う。相手を待つのではなく市からも出掛けはどうか(74・女)

IV. 相談機関

1. 民生委員・在宅福祉委員についての情報不足

- ・地域福祉については、民生委員や在宅福祉委員の活動について、活動内容やまた活動しているかもわからない。こういうことであれば相談することは出来ないと思う。(58・男)
- ・民生委員の選出方法が不透明であるため、もう少し検討した方がいい。(79・女)

2. 地域と民生委員の信頼関係の向上

- ・前の民生委員は人のうわさばかりしており、とてもではないが相談する気にはならず。(47・男)
- ・各相談員(特に民生委員)の自覚の欠如で相談者の内容書類を他言することが多く相談できない。相談は専門職を利用する、もしくは相談せず泣き寝入りする。(45・男)
- ・最近特に民生委員の行動が気にかかります。一部の町会かも知れませんが地域の方から嫌がられる委員であってはならないと思います。(77・女)

3. 相談窓口の充実

- ・町内に気軽に利用できるサロンのような相談所が欲しい。(56・女)
- ・365日問合せ出来るようにしては。日中仕事の方は今の体制では問合せ出来ない。(47・男)
- ・もっと目に見える住民が相談しやすい開かれた窓口を作ってください。(51)
- ・高齢者の方の相談窓口があることも大切だと思いますが、障がいのある方の相談窓口や入所施設なども充実させていただきたいと思います。(24・女)
- ・コーディネーターについては、デイサービスを行っている所に置いた方が相談しやすいところもあるのではないかと。(58・男)
- ・近所に嫌がらせをする人がいるので、そのような相談窓口があったら良いと思う。(47・女)
- ・近所の交流よりも近所の苦情に対する取り組みも必要ではないかと。(40・女)

V. 様々な地域の課題

1. 治安・防災・衛生

- ・最近是不審者が多く子どもの通学が不安。街灯の色を青色にして犯罪率を下げる等の対策が必要。(35・男)
- ・自分の町は街灯が少なく防犯上からももう少し明るい町になればいいと感じています。(45・男)
- ・自分の地域は子どもや高齢者が多く、夜間は人気がなくなる。夜中に仕事から帰るとき不安だ。また街灯が少なく路地裏は真っ暗になっていて心細い。地域の見守りを強化してほしい。(28・女)
- ・子どもの通学路に歩道やカーブミラーがないため心配です。(50・男)
- ・町会費の内訳に街灯費とあるが、これは函館市で出して欲しい。防犯上必ず使わないとまらないものなのに町会が半分出しているのは不自然のように思われる。(54・女)
- ・空き家が多く子供さんがどこにいるかもわからずすごく不用心です。(75・女)
- ・木造の空き家が多い印象です。防災上危険であり、また野良猫が住みついたりと不衛生を感じています。(59・男)

2. 公共交通

- ・バスの本数が少ない。(特に夕方～終バスまでの時間帯) (20・女)
- ・日吉町在住ですが、美原・赤川方面で色々な催事なりが多数あるようですが、参加するにしてもバス停の便が不便。五稜郭や市中心部のバスが余計に多い。(77・男)
- ・公共交通機関の増便。(時間によってバスがない) (44・女)
- ・公共交通機関をもっと充実させて欲しい。高齢者の事故が増えているが、車を手放せない気持ちもわかる。(41・女)
- ・病院や買い物にバスが無く不便。現在は自家用車だが障がい者がいるので今後は不安。(74・女)

3. 除雪

- ・高齢者が多くなっている所以小さな市道の除雪・排雪をもっとやってほしい。(40・女)
- ・冬の雪かきは苦勞です。自分が健康の中は良いのですが、体が弱くなった時(雪かき)心配です。(80・女)
- ・雪かきも市の車がほとんど入らない。左右1本向こうの道は頻繁にはいるのに。(58・男)
- ・私は障がい3級で要支援です。昨年9月より特定目的住宅に移りとても良い環境で安心しておりましたが、冬の雪かき除雪には大変苦勞しました。高齢住宅特定目的に入居しているのは身体の具合、歩行困難者が多いのです。市の方で除雪をして頂けないでしょうか。(63・女)
- ・除雪をもう少しちゃんとしてほしい (30・女)
- ・除雪の件ではボランティアの派遣等を考えてみても良いのでは。(30・女)
- ・除雪体制の見直しをしてほしい。(64・女)
- ・冬場の雪投げにも苦勞しています。一度で良いから除雪車が入って欲しいです。(80・女)